



あふれる笑顔 心豊かな未来へ

平成30年度 民間放送教育協会 四国・九州・沖縄地区研究協議会 熊本大会

THE MINKYOKYO KUMAMOTO 2018

復興のチカラを みんなの未来へ

テーマ

平成30年 9月8日(土)

入場 無料

会場 熊本市国際交流会館 6・7階ホール
熊本市中央区花畑町4番18号 TEL 096-359-2020

時間 13:00～16:00(予定)

整理券が必要です

GUEST

トークセッション

「熊本地震と人間の可能性」



行定 勲

映画監督

1968年生まれ、熊本県出身。2000年『ひまわり』が、第5回釜山国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞し、演出力のある新鋭として期待を集め、01年の『GO』で第25回日本アカデミー賞最優秀監督賞を始め数々の映画賞を総なめにし一躍脚光を浴びる。04年『世界の中心で、愛をさけぶ』は興行収入85億円の大ヒットを記録し社会現象となった。以降、『北の零年』(05)、『春の雪』(05)、『クロズド・ノート』(07)、『今度は愛妻家』(10)、『パレード』(10/第60回ベルリン国際映画祭パノラマ部門・国際批評家連盟賞受賞)、『円卓』(14)、日中合同作品『真夜中の五分前』(14)、『ピンクとグレー』(16)、故郷・熊本を舞台に撮影した『うつくしいひと』(16)、日活ロマンポルノリブート『ジムノペディに乱れる』(16)、『うつくしいひと サバ?』(17)、『ナラタージュ』(17)がある。2018年2月に岡崎京子原作『リバーズ・エッジ』《第68回ベルリン国際映画祭パノラマ部門オープニング作品》が公開され、同映画祭にて国際批評家連盟賞を受賞した。4月には自身がディレクターを務める『くまもと復興映画祭』で新作『いっちょんすかん』を上映するなど熊本の復興にも精力的に関わる。また映画だけでなく舞台『趣味の部屋』(13,15)、『プエンスアイレス午前零時』(14)、『タンゴ・冬の終わりに』(15)などの舞台演出も手掛け、その功績が認められ16年、毎日芸術賞 演劇部門寄託賞の第18回千田是也賞を受賞した。また『うつくしいひと』『うつくしいひと サバ?』Blu-ray&DVDが発売中で、その売上げの一部は、チャリティーとして熊本復興のために寄付される。

ミニライブ



ピエント

熊本の阿蘇をテーマにインストゥルメント音楽を奏する吉川万里と竹口美紀のデュオグループ。ケーナ・オカリナの主旋律とシンセサイザーの伴奏で音楽を形成する。結成からやがて20年。2016年の熊本地震では、阿蘇郡西原村のオフィスは倒壊を免れたものの、楽器と楽曲データが被災し、多くの作品データを失う。その後半年の避難生活を経て徐々に活動を再開した。

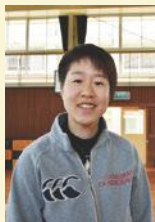
パネルディスカッション



大田黒 浩一

パーソナリティ

1957年熊本市生まれ。大学卒業後、熊本放送を中心に、ラジオ、テレビを中心にタレントとして活動している。「劇団きゃあ」主宰。酒とジョギングと熊本弁をこよなく愛する。「とんでるワイド 大田黒浩一の今日も元気!」RKKラジオ月曜一金曜担当、9時～「ウェルカム!」RKKテレビ15時～、水曜一金曜担当。熊本のテレビ、ラジオの第一線で活躍し続ける。



橋村 さくら

学生団体「阿蘇の灯(あかり)」初代代表

2014年に東海大学農学部に進学。2016年4月の熊本地震時は偶然地元静岡県に帰省していた。震災後5月下旬から住んでいた南阿蘇村黒川地区で現場災害ボランティア活動やイベント運営等を経て、11月に団体「阿蘇の灯～あそのあかり～」を設立、初代代表を務めた。「阿蘇の灯～あそのあかり～」では語り部・灯籠イベント・交流会・災害ボランティアの4つの活動を柱に現在も活動を続けている。2018年3月に東海大学農学部を卒業し、同年4月から美里町地域おこし協力隊に就職。

【主催】公益財団法人 民間放送教育協会

【主管】株式会社熊本放送

【後援】文部科学省 総務省 熊本県 熊本市 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 【協賛】中央出版



あふれる笑顔 心豊かな未来へ

平成30年度 民間放送教育協会 四国・九州・沖縄地区研究協議会 熊本大会

テーマ 復興のチカラをみんなの未来へ

2016年4月の熊本地震から今年で2年。復興は少しずつ進んでいるが、まだまだ道のりは遠い状況である。変わり果てた熊本城、壊れた街並み。電気も水道も止まった中、全国からやってきて復興を支援してくれたボランティアの人たち。人の優しさ、大切な風景、私たちににとっての、心の拠り所とは何か。震災は甚大な被害をもたらしたが、一方で、たくさんの方のことを私たちに気づかせてくれた。

今回の熊本大会のゲストは、熊本地震後、熊本が地震から復興する姿を映画に撮り続ける映画監督の行定勲さん、そして震災後、自らも被災しながらラジオで被害状況や復興状況などを伝え続けたラジオパーソナリティーの大田黒浩一さん。阿蘇を拠点に活動し、甚大な被害を受けながらも阿蘇を奏で続けるピエント。彼らを感じたこと、見えたことはどんなものなのか。それが彼らをどのように変えたのか。彼らは今後何をしようとしているのか。地震は、ふるさとを再認識させてくれたと同時に、人間の可能性も、見せてくれた。

私たちが震災によって感じた人間の可能性を、日本の未来のチカラにつなげたい。

大会プログラム(予定)

- 13:00 開場
- 13:25 オープニングアクト 「水俣ハイヤ節」水俣市立袋小学校児童
- 13:40 開会 司会:糸永有希(熊本放送アナウンサー)
- 14:00 トークセッション 「熊本地震と人間の可能性」

行定 勲(映画監督) **福島絵美**(熊本放送アナウンサー)

- 14:40 次年度主管局ご挨拶
(休憩)

- 14:55 ミニライブ **ピエント**「阿蘇を奏でる」

- 15:10 パネルディスカッション 「復興のチカラ」

行定 勲(映画監督) **橋村さくら**(学生団体「阿蘇の灯(あかり)」初代代表)
大田黒浩一(パーソナリティ) **江上浩子**(熊本放送キャスター)
吉川万里(ピエント)

- 15:55 閉会式
- 16:00 終了



「2001・水俣ハイヤ節」
うみと月と星の会・水俣市立袋小学校

「2001・水俣ハイヤ節」は、漁師でもあり水俣病患者でもあった、故熊本栄子さんと東京歌舞団荒馬座の人たちによって創られた、人と人の心をつなぐ魂の踊りである。水俣病患者発生多発地区にある水俣市立袋小学校では、踊りができたときから一緒に踊っており、現在は、「うみと月と星の会」の代表杉本肇さんたちの指導を受けながら、踊りにこめられた意味や熊本栄子さんの想いを大切にしながら踊り伝えている。

整理券の申し込み方法

● ハガキでの応募

郵便ハガキの裏面に

- ①参加希望人数 ②代表者の郵便番号・住所 ③氏名
- ④年齢 ⑤電話番号 を明記の上、下記宛先までお送りください。

〒860-8611 熊本市中心区山崎町30 熊本放送「民教協」係

● ホームページからのご応募

<http://rkk.jp/min2018/>

- ・応募者多数の場合は抽選となります。
- ・当選の方には追って聴講券をお送りします。
- ・応募いただいた個人情報は、当事者以外の目的には一切使用しません。
- ※電話でのお申し込みはできません。

お問い合わせ

〈RKKイベント情報係〉 10:00～12:00、13:00～17:00
TEL 096-328-5525 (祝祭日を除く、月～金のみ)

会場マップ



熊本市国際交流会館 6・7階ホール
 熊本市中央区花畑町4番18号 TEL 096-359-2020



あふれる笑顔
心豊かな未来へ

公益財団法人民間放送教育協会とは

公益財団法人民間放送教育協会(略称:民教協)は、放送を通じて教育の機会均等と振興に寄与することを目的として昭和42年に文部科学省の認可を受けて設立されました。それぞれの地域を代表する全国の34の民間放送局で組織され、既存の系列を超えて全国をカバーできる民放唯一のネットワークです。電波による生涯学習普及を目指し、「日本のチカラ」などの社会教育・教養番組を加盟社の共同企画・制作によって全国放送しています。また、視聴者・行政・放送局の三者による研究協議を始め、生涯学習に関する様々な活動を全国で展開しています。